

古都 金沢に新名所誕生
金沢屈指の広大な日本庭園を一般開放
国の文化財建築を「茶寮」「1組貸切料亭」としてオープン
大正モダンな建物で庭を前に加賀野菜の和菓子や懐石を…

ウェディングプロデューサー・レストラン運営の(株)ノバレーゼ(東京都中央区、浅田剛治社長、東証一部、資本金6億円)は、七代目小川治兵衛(植治)の設計とされる、石川県の金沢市指定文化財「辻家庭園」(寺町1丁目)内にある国登録有形文化財の建物を、朝から夕方にかけて手作りの和菓子でおもてなしする茶寮として、夜は1組貸切型の料亭として、2013年12月9日(月)に開業します。約6600㎡の広大な敷地全体も開放し、遊歩道を整備した庭の散策もお楽しみいただけます。

朝から夕方の料金は庭と建物の拝観料として税込1000円をいただき、和菓子と抹茶をご提供します。拝観時間は午前10:00～17:00(春夏は18:00まで)です。

来年1月からは、夜19:00以降、豪華絢爛な金沢文化を残す茶寮の一室、真っ青に塗られた壁が圧巻の「群青の間」を6～8人で貸し切る一日一組限定の“個室料亭”として使い、お一人15,000円からの懐石料理を提供します。「群青の間」への入室は夜のみで、拝観時間は通路からご覧いただけます。

茶寮と庭を含む総称を初代当主に由来し「辻家庭園～前田家家老旧横山家迎賓館～」とします。



外観はそのままに内観を改装、大正モダンな雰囲気

茶寮として開業する建物は、国登録有形文化財である母屋を中心とした金沢最大級の邸宅建築で、外観はそのままに内観の豪華な造りを活かし改装します。

青金石(ラズライト)の色素を使った真っ青な壁が圧巻の「群青の間」や、鳥などの透かし彫りを施した立体感あふれる欄間など、建築当初である大正初期の絢爛豪華な建築要素を残します。10部屋のうち4部屋を飲食スペースにし、通路やテラス、建物前の平庭も活用しながら計17卓60席を設けます。「群青の間」のみ畳の掘りごたつ式にし、ほかは洋式の大正モダンな雰囲気にします。



建物は高台(寺町台地)の崖の上に建ち、その崖の縁から下る急な斜面に庭園が造成されています。金沢の街並みや山、川を一望でき、かつその大景観を借景とする庭園全体をご覧いただけます。

庭の散策では、富士山の溶岩や約 770 本の植栽で自然風に造成された豪快な回遊式庭園を遊歩道に沿ってお楽しみいただけます。これからの季節、秋はモミジやソメイヨシノなど植栽の半分を占める落葉樹の紅葉を、冬は雪の中に赤い花を咲かせるヤブツバキなどを愛でることができます。

茶寮の料理長は、東京・築地の日本料理の名門「つきぢ田村」の創業者の教えを守る「神戸たむら」などで和食の真髄を学んだ玉田慎介です。拝観時には、この庭園のために考案した、加賀や能登の野菜などで作る郷土感のある創作和菓子を、夜は品のある上質の懐石料理を提供します。

当社は壮大なスケールで造られたこの名勝を広く一般公開し、地元のみならず国内外から観光客を誘致し、金沢の新たな観光名所に育ててまいります。

文化財ウエディングも提案

「辻家庭園～前田家家老旧横山家迎賓館～」は当社本業である、披露宴会場としても運用します。犀川に面した園内北東側に新設している地下 1 階地上 2 階建ての建物(敷地 856 m²、延べ床 1344 m²)にチャペル(1F)と婚礼会場(2F)、厨房(B1F)を設けます。披露宴会場(233 m²)は着席で最大 130 人を収容でき、大型スクリーンなど最新鋭の設備を完備、最先端の挙式、披露宴を手掛けます。

建物は庭園の景観を損なわない和モダンをコンセプトにデザインし、お庭の眺望が楽しめるよう、庭側を全面ガラス張りにしています。

また、2 階の婚礼施設と高台の本館離れを、ガラス張りの空中回廊で結びます。本館と離れ、回廊、婚礼会場が庭園をコの字に囲み、どこからも庭の眺望をお楽しみいただける造りです。

茶寮を運営する本館はゲストの待ち合いラウンジなどに利用、離れは二間の造りを生かし両家親族の控え室として活用します。

「文化財指定の庭園で挙げる結婚式」というほかにはない魅力をお客様に提案します。

なお、新施設的设计および本館の改装デザインは、石川県で活躍する建築家であり、NPO 法人の理事長として金沢市のまちづくりをプランニングする浦建築研究所の浦淳氏が手掛けています。



施設概要

施設名	辻家庭園～前田家家老旧横山家迎賓館～		
開業日	2013年12月9日(月)	住所	〒921-8033 石川県金沢市寺町1-8-48
交通	JR金沢駅東口7番乗り場から「平和町行き」のバスで「寺町2丁目」下車、徒歩2分		
投資額	7億		
連絡先	電話 076-201-1122、ファクス 076-201-1123		
駐車場	15台		

茶寮

営業時間	拝観時間帯10:00～18:00(9/1～10/15)、10:00～17:00(10/16～2末) 料亭時間19:00～(来年1月～)予約制 ※拝観・料亭時間ともに第二水曜日定休		
拝観料金	税込1,000円 ※庭の散策および和菓子1品と抹茶付き。季節の野草を添えて厳選した器に飾りつけ、抹茶とともに提供します		
料亭料金	税込お一人15,000円～(6～8人の要予約、一日一組の完全貸切型、懐石コースを提供)		
敷地面積	建物面積:本館全体405㎡、新館1344㎡、敷地面積:6611.57㎡(2000坪)		
茶寮使用部屋	①ラウンジ(緑壁の広間、縁側)8卓27席 ※カウンター席及び、庭園席含む ②個室大(離れ通路の間)2卓12席 ③個室小(離れ通路の間)1卓6席 ④離れの間6卓15席 ※バルコニー席含む		
URL	http://restaurant.novarese.co.jp/tkt/		
和菓子の品書き	「自家製のつぶあんを牛皮(ぎゅうひ)で巻いた和菓子」など石川県産の食材を使った本格和菓子を提供		
来園者数目標	年間2500人(庭園拝観者数)		

婚礼施設

収容人数	披露宴会場/着席130人、チャペル/着席80人		
売上目標	5.5億円(年間)	婚礼見込数	150組(年間)
披露宴人数	70人(平均)	組単価平均	350万円(想定)
面積	新設する婚礼会場:1344.13㎡(406.6坪) (披露宴会場:232.52㎡(70.34坪)、チャペル:120.00㎡(36.30坪))		
構造	S造一部RC造		
ホームページ	http://restaurant.novarese.co.jp/tkt/		

辻家庭園について

— 歴史 —

辻家庭園は加賀藩の家老八家(旧加賀八家(はっか))の一つで、「北陸の鉦山王」として知られた横山家の絶頂期である大正初期(1910年代)に、別荘地兼迎賓館の庭園として造成されました。

昨今の専門家の研究で設計者は、近代日本庭園の傑作とされる椿山荘(山縣有朋別荘)や平安神宮など数々の名園を残した、近代造園の先駆者「植治」こと七代目小川治兵衛であるとされています。

作庭時の敷地は数万坪(今は庭園の中心部が残る)で、現在の40億円に相当する20万円を投じた豪勢な庭です。1925年(大正14年)に別の人物の手に渡り一時は荒廃したものの、1947(昭和22)年に辻家の所有となり整備がなされ、離れや蔵を増築し現在の建物が完成しています。

2004(平成16)年には明治以降の庭園として初めて金沢市指定文化財に指定され、同年、建物の母屋と長さ50mにおよぶ板塀と表門が国登録有形文化財にも指定されました。庭園自体は保護のため1995年頃から、不定期のイベント開催や散策を希望する個人からの依頼に応じる以外は、原則非公開となっていました。



国の重要文化財である表門

— 魅力 —

辻家庭園は犀川を隔てた金沢の街を一望できる寺町台地の斜面約6600㎡の広大な敷地で、戸室山や医王山、犀川などを借景とする回遊式庭園です。英国風庭園の影響を受けた、自然の趣を生かしたつくりが特徴です。

中でも大量の富士山の溶岩を自然風に積んだ落差5.5mの大滝が、スケールの大きさを演出しています。当時、溶岩の使用は先進的の流行だったとされ、また内部が金沢では初めての鉄筋コンクリート構造物で最新技術が駆使されました。当初から、高い技術を用いた名園として評価を受けています。



富士山の溶岩を積んだ大滝

戦後、作庭時の溪谷を模した地形をかえずに植林をしたり、園路を整備したり手が加えられ、自然の山中のような風情のある庭園へと発展していきます。園内には約770本もの木が植えられており、特に約25mのケヤキ3本は樹齢300年以上の古木です。日本庭園には珍しくイロハモミジやケヤキなど落葉樹林が植栽の半分を占めます。

大滝から流れ落ち二つの滝を経て池に注ぐ水は清らかで、苔むした緑の岩は瑞々しく美しく、自然の優美さを見事に造り出しています。

本館も贅を尽くした造りで、特に母屋の、鳥などを透かし彫りにした立体感のある欄間や、現在では再現の難しい青金石(ラズライト)を主成分とする石「ラピスラズリ」を色素として壁一面に使用し今なお真っ青(コバルトブルー)に発色する群青の間などは圧巻で、豪華絢爛の趣です。建物はL字に長く、各所において異なる趣の庭を楽しむことができます。

ノバレーゼの歴史的建築物の再生事例について

ノバレーゼは、本館建物のリノベーションを7件手掛けており、中でも歴史的建築物の婚礼およびレストラン再生案件が6件と多く、業界のリーディングカンパニーです。

[1] ザ ロイヤル ダイナスティ(埼玉県/2004年)

創業38年の老舗式場「出雲会館」を、神殿や風格のある建築を残しゲストハウスにリノベーション。

[2] 芦屋モリス(兵庫県/2005年)

1929年に電報電話局として建築された洋館「旧逓信省芦屋別館」を再生。当時の趣ある外観をそのまま残し、設備を一新。新たに水に浮かぶように造られたチャペルを新設。

[3] 三瀧荘(広島県/2009年)

各国要人の宿泊先としてや、将棋の棋王戦や囲碁の碁聖戦の舞台として、国内外の方々に愛された木造建築である、1946年開業の料亭旅館「三瀧荘」を再生。現存する建物や庭を活かしながら宴会座敷をチャペルにするなど“ジャパニーズ・モダン”をテーマに改装。

[4] 姫路モリス(兵庫県/2009年)

1930年に建設の昭和初期の歴史的建造物「旧逓信省姫路電信局」を再生。ジョージアンスタイル建築のように縦線を強調したクラシカルな雰囲気をもつ景観重要建築物本体を美しく魅せるため、新築のチャペルやインテリアに、伝統的な折り紙をコンセプトとした斜めのラインを主張したモチーフを取り入れ改装。



[5] 旧ジェームス邸(兵庫県/2012年12月8日)

1934年建設の神戸を代表する歴史的洋館で、英国人貿易商の自邸であった「旧ジェームス邸」を再生。歴史的建築美を生かしながら、地上階はレストランや婚礼の待合室として利用し、地下のレンガ積みのバーもそのまま活用、建物を邪魔しない控えめな披露宴会場とチャペルを敷地内に新設。



[6] 旧桜宮公会堂(大阪府/2013年4月15日)

1935年に明治天皇記念館として建設された国の重要文化財「旧桜宮公会堂」を大阪市から借り受け婚礼施設兼カフェ・レストランとして再生。日本で最も早い時期の洋館の一つで、ローマ神殿風の重厚な石造りが特徴の建物外観をそのまま残し、建物内を当時の様式美を活かしながら改装。



[7] 辻家庭園(石川県/2013年12月9日グランドオープン)

大正初期作庭で、金沢市指定文化財の県屈指の近代庭園「辻家庭園」を茶寮として再生。近代日本庭園の先駆者、七代目小川治兵衛(植治)設計の庭と国登録有形文化財の母屋などの外観を残し内装を改装。婚礼施設としても活用し、チャペルと披露宴会場を庭園内に新設。

会社概要

【社名】株式会社ノバレーゼ[英文社名]NOVARESE, Inc.[証券コード]東証一部(2128)
 【住所】〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目8番14号 銀座 YOMIKO ビル 4F
 【電話】03-5524-1122(代) 【設立】2000年11月1日
 【資本金】608,825千円(2012年12月末) 【代表者】代表取締役社長 浅田剛治
 【従業員数】1,355人(連結)、1205人(単体) ※いずれもパート・アルバイト含む(2013年6月末日)
 【売上高】2012年12月期 117億6,384万円(連結)
 【事業内容】ブライダル事業(婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門)、レストラン特化型事業
 【連結子会社】上海娜珀蕾絲餐饮管理有限公司(レストラン運営)、NOVARESE KOREA INC.(レストラン運営)
 株式会社 MARRY MARBLE(婚礼演出映像制作)、株式会社花乃店千樹園(婚礼装花)
 株式会社タイムレス(コンサルティング事業)

事業内容

■ ブライダル事業

(婚礼衣裳部門)

NOVARESE	シンプルでモダンなデザインの高級ウエディングドレスのレンタル、販売
ecruspose	華やかでキュートなデザインのウエディングドレスのレンタル、販売

(婚礼プロデュース部門)

モノスタイル	都市の中心地や閑静な住宅街など利便性の良い地域を対象に、洗練された都会的イメージと、高級感を演出するシンプルでスタイリッシュな内外装や空間建築を特徴とする施設
アマンダタイプ	都市郊外で自然の景観に恵まれた地域を対象に、くつろぎと開放感のある高級リゾート感のあるウエディングを演出する、自然を活かした郊外型建築を特徴とする施設
再生施設	歴史的・文化的価値があり利便性の良い高付加価値建造物や、旧来型のホテル・専門式場を当社の開発・運営手法を投入し、蘇らせた施設(下記【再】)
中価格帯施設	平均婚礼費用を上記3タイプより4割程度抑えた中価格帯施設。本館の式場・ホテル・ゲストハウスを改装する再生物件に特化
業務提携	レストランや料亭との提携施設で挙式・披露宴やパーティの受託運営(下記【提】)

(レストラン部門)

レストラン事業	休日の披露宴や平日のレストラン営業における飲食事業を運営(下記【R】)
---------	-------------------------------------

■ レストラン特化型事業

挙式・披露宴を行わないレストラン特化型の店舗を運営(下記【Rのみ】)

【R】: 通常のレストラン営業
 【R夏季】: 夏季限定営業
 【R夏】: 各種宴会時のみ営業

ゲストハウス	モノリス	12	25 [27]
	アマンダ	6	
	その他 ゲストハウス	3 (2)	
中価格帯施設		4	
婚礼提携		2	
ドレッシング	NOVARESE	9	15
	ecruspose	6	
レストラン特化型(国内)		3	
レストラン特化型(海外)		2	

()は今後の開業件数
 □は新規を含む合計

本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当:野原 TEL: 03-5524-1199 FAX: 03-5524-1133

E-mail: nohara@novarese.co.jp